

主編 張憲文 | 副主編 張連紅 王衛星

南京大虐殺史

—— 訳者 雷国山 葉琳 陶友公 ——

南京大学出版社

目次

総論	1
第一章 南京保衛戦	41
第一節 戦前の南京	41
一 国民政府は首都を南京に	41
二 南京の行政組織と行政区画	42
三 市内・近郊の人口とその変化	45
第二節 日本軍の南京侵攻と国民政府の対応	52
一 上海占領後西へ侵攻する日本軍	52
二 日本軍の南京空襲と守衛軍の防空作戦	56
三 南京保衛における国民政府の挙措	59
第三節 外線陣地と内線陣地の激戦	63
一 外線陣地の争奪	63
二 守衛軍の陣地調整と日本軍の降伏勧誘	69
三 内線の戦闘	72
第四節 南京失陥	82
一 日本軍による南京陥落	82
二 途中各地で犯した暴行	93
三 英米の艦船に対する襲撃	97

第二章 中国内外を震驚した日本軍の大虐殺…………… 100

 第一節 俘虜「処置」と「掃蕩作戦」…………… 100

 一 城攻略戦中の俘虜「処置」…………… 100

 二 「掃蕩」命令と「掃蕩作戦」…………… 108

 第二節 集団的虐殺…………… 116

 一 長江畔の集団的虐殺…………… 116

 二 安全区内の捜査・逮捕と城内外の集団的虐殺…………… 127

 第三節 分散した虐殺…………… 156

 一 市内の分散した虐殺…………… 156

 二 安全区内の分散した虐殺…………… 164

 三 近郊における分散した虐殺…………… 170

第三章 日本軍の大規模な性暴行…………… 176

 第一節 在南京女性に対する日本軍の強姦…………… 176

 一 日本軍の強姦暴行…………… 176

 二 被害者の心の傷…………… 182

 三 西側の目に映った日本軍の性暴行…………… 186

 第二節 日本軍性暴行中の変態行為…………… 196

 一 輪姦…………… 196

 二 乱倫強制と性悪ふざけ…………… 202

 三 強姦後の虐殺…………… 206

 第三節 日本軍の慰安所と「慰安婦」…………… 213

 一 南京慰安所の設立…………… 213

 二 南京慰安所の類型…………… 216

 三 南京諸慰安所の管理…………… 228

 四 南京各慰安所内の「慰安婦」の苦難…………… 233

第四章 日本軍の略奪・放火・破壊…………… 243

 第一節 略奪…………… 243

 一 公私の財物への略奪…………… 243

 二 外国財産への略奪と占有…………… 256

 三 凶書・文物への略奪…………… 266

 第二節 放火…………… 272

 一 大規模な放火…………… 272

 二 散点的放火…………… 277

 三 組織的放火…………… 280

 第三節 都市への破壊…………… 285

 一 紫金山風景区に対する破壊…………… 285

 二 歴史文化的建築に対する破壊…………… 289

 三 家屋・古建築の占用と取り壊し…………… 294

第五章 南京安全区国際委員会の救援…………… 299

 第一節 南京国際安全区の設立…………… 299

 一 西側の人士による安全区設立提議…………… 299

 二 南京安全区設立に対する中日の態度…………… 305

 三 南京国際安全区の設立…………… 310

 第二節 南京安全区国際委員会の難民保護・救助…………… 314

 一 安全区の組織と管理機構…………… 314

 二 難民所の分布と難民の安置…………… 318

 三 難民の救済…………… 323

 四 難民の保護と救出…………… 327

 第三節 日本軍の対安全区態度の変化…………… 334

 一 南京失陥初期、日本軍の安全区黙認…………… 334

二	安全区国際委員会の日本軍当局に協力する努力	343
三	安全区国際委員会に対する日本軍の敵視と排斥	346
四	安全区国際委員会の解散と難民所の閉鎖	355
第六章	日本軍管制下の南京	365
第一節	日本軍の南京に対するコントロール	365
一	軍事的支配	365
二	社会・経済に対するコントロール	369
第二節	傀儡南京市自治委員会	372
一	「自治委員会」の成立	372
二	「自治委員会」の主な活動	375
第三節	遭難者死体の埋葬と処理	379
一	慈善団体の埋葬活動	379
二	日本軍の遭難者死体処理	388
第四節	南京市民の生活	397
一	日本軍の粉飾する「平和」と「繁栄」	397
二	市民の生活状況	402
三	郊外農民の生活	406
四	大虐殺の中における難民の心理	409
第七章	南京大虐殺に対する中国側の報道と暴露	414
第一節	南京大虐殺への中国側のメディア報道	414
一	国民政府統治区のメディア報道	414
二	中国共産党のメディア報道	423
第二節	南京大虐殺に対する生残者の暴露	432
一	南京脱出の軍人の暴露	432
二	南京難民の暴露	440

第三節	南京大虐殺事件への中国政府当局の暴露	447
一	国際宣伝処による海外宣伝	447
二	軍事委員会政治部による暴露	460
第八章	日本軍の暴行に対する国際社会および日本側の反応	464
第一節	南京大虐殺に対するアメリカ側の反応	464
一	新聞メディアの反応	464
二	政府側の反応	467
第二節	南京大虐殺に対するドイツ側の反応	474
一	政府筋の反応	474
二	政府の態度変化	480
第三節	イギリス側の反応	484
一	マスメディアの報道	484
二	政府の反応	492
第四節	スペイン・イタリア・ソ連などの反応	495
一	南京の暴虐に対するスペインの反応	495
二	南京の暴虐に対するイタリアの反応	497
第五節	日本側の反応と応対	502
一	日本当局の反応と応対	502
二	マスメディアと民衆の反応	521
第九章	戦後の調査と裁判	533
第一節	戦後の調査	533
一	南京敵人罪行調査委員会の調査と統計	533
二	南京抗戦損失調査委員会の調査と統計	542
三	南京大虐殺案敵人罪行調査委員会の調査と統計	548
第二節	南京裁判	553

一 国民政府の日本戦犯に対する裁判の方針と手続	553
二 南京大虐殺案戦犯の立案	557
三 法廷に於ける審理と判決	561
第三節 東京裁判	574
一 極東国際軍事裁判所の成り立ち	574
二 検察側の調査と証拠収集	579
三 南京大虐殺案の法廷審理	589
四 松井石根の罪責	593
五 法廷の判決	606
索引	621
あとがき	637

图书在版编目(CIP)数据

南京大虐殺史: 日文 / 张宪文主编; 雷国山, 叶琳, 陶友公译. — 南京: 南京大学出版社, 2015.11

ISBN 978-7-305-16060-8

I. ①南… II. ①张… ②雷… ③叶… ④陶… III. ①南京大屠杀—史料—日文 IV. ①K265.606

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2015)第 252072 号

南京大虐殺史

2015年11月28日 初版第1刷発行

主 編 張憲文

副主編 張連紅 王衛星

訳 者 雷国山 葉 琳 陶友公

訳 校 揭 俠 高文漢

発行者 金鑫荣

発行所 南京大学出版社

〒210093 南京市漢口路22号

電話: 発行部 86-25-83594756

編集部 86-25-85685856

<http://www.njupco.com>

製版所 南京紫藤製版

印刷/製本 南京愛德印刷有限公司

© Nanjing University Press 2015, Printed in China

ISBN 978-7-305-16060-8